

講演会

「デジタル時代の国立図書館の挑戦—オランダ国立図書館の戦略を事例として」

図書館は、デジタル革新の波をどう捉え、利用者に還元していくべきでしょうか。国立国会図書館では、国立図書館として先進的な電子情報基盤の構築に取り組むオランダ国立図書館からリリー・クニベラー館長と同館の戦略アドバイザーであるエルスベート・クワント氏をお招きして、講演会を開催します。デジタルリテラシーの推進、デジタルファーストを打ち出したコレクション構築、国内図書館及び関連機関との協力等、オランダ国立図書館の戦略計画に基づく取組について、講演とパネルディスカッションを行います。

- 日時 令和5年10月11日（水）14:00～16:30（13:30開場）
- 会場 国立国会図書館東京本館 新館講堂（千代田区永田町1-10-1）
- プログラム（日英同時通訳付き）

講演	「ネットワーク、オープン、包摂（Networked, open and inclusive）」（仮） リリー・クニベラー氏（オランダ国立図書館長）
	「言葉との協働（Working with Words）」（仮） エルスベート・クワント氏（オランダ国立図書館戦略アドバイザー）
パネルディスカッション	ファシリテータ：竹内比呂也氏 （千葉大学副学長、附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長、国際未来教育基幹高等教育センター長、同大学院人文科学研究院教授） パネリスト：リリー・クニベラー氏 エルスベート・クワント氏 大場利康（国立国会図書館電子情報部長）

- 参加費・申込方法
 無料。国立国会図書館ホームページの申込フォームからお申込みください。
<https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/20231011lecture.html>
- 申込締切 令和5年10月4日（水）17:00
 （先着順で定員200名となり次第受付を終了します。）

<登壇者>



Photo by: E. Weers/E. Colmjon

(左より、クニベラー氏、クワント氏、竹内氏、大場)

リリー・クニベラー オランダ国立図書館長

ハーバード大学やユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドンの客員研究員を務める。2008年にオランダ国立図書館入館後、様々な管理職を経て、2015年から現職。図書館、伝統遺産、調査研究の分野で多様な職務を経験しており、社会的価値、デジタルトランスフォーメーション、ネットワークコラボレーションに関心がある。

エルスベート・クワント オランダ国立図書館戦略アドバイザー

ライデン大学在学中から大学出版局の出版やデータベースに係るプロジェクトに参加。オランダ国立図書館の戦略立案、文化・研究プログラムに従事後、2015年から現職。2017年からヨーロッパピアナ理事会理事。現在、オランダ博物館登録委員会委員長。

竹内比呂也 千葉大学副学長、附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長、国際未来教育基幹高等教育センター長、同大学院人文科学研究教授

東京大学附属図書館（総合図書館）、ユネスコアジア太平洋地域中央事務所（バンコク）、静岡県立大学短期大学部（およびこれを基礎とする静岡文化芸術大学）助教授、千葉大学准教授を経て現職。

大場利康 国立国会図書館電子情報部長

1990年国立国会図書館入館。関西館図書館協力課長、同電子図書館課長、電子情報部電子情報流通課長、同電子情報企画課長、総務部会計課長、同企画課長、同副部長を経て、2021年4月から現職。

■お問合せ先 国立国会図書館 総務部支部図書館・協力課 協力係

電話：03-3581-2331（代表） メールアドレス：lecture@ndl.go.jp